

アメリカ カリフォルニア大学リバーサイド校

[2019年4月～2019年8月分]

2013年3月卒業(薬学部)西尾岳人

みなさん、はじめまして。

私は渡米前、日本で薬剤師として勤務していましたが、現在、カリフォルニア州ロサンゼルス近郊に住んでいます。こちらへ来た当初1ヶ月は、言葉、生活習慣、環境の違いに戸惑う事が多い毎日でした。しかし、世界中からやってくるクラスメイトや現地の人々の優しさに触れ、徐々にこちらの生活に馴染むことができ、今ではとても楽しく刺激的な生活を送っています。



大学周辺にはカフェやレストラン、映画館が集まるモールがあります。ロサンゼルスのような高層ビルはなく、自然と調和した街ですが、ダウンタウンには歴代大統領とゆかりのある歴史的建造物や大きい公園があり、非常に美しい街で、地元の人はずっとフレンドリーで声をかけてきてくれます。大学周辺の治安は良いと言われているので、安心して授業を受けることができます。



UCR Extension では集中英語コース、ビジネス英語、大学院進学コース、アカデミック英語、プロフェッショナル修了取得コースなど多様な講座が準備されています。また、南米、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど世界各国からの留学生が来ていますが、時期や期間によって異なります。クラスでの年齢層は様々で、大学生、社会人、年配の人も参加しています。またプログラムの違いにより、長期の他、短期で滞在する学生もいて、クラスメイトが頻繁に変わっていくという印象があります。

1ヶ月に数回行われるプレゼンテーションは、クラス全員の前で、時事問題や動物保護、自然環境など、自分が選んだコンテンツを発表し、クラスメイトはそれに対して意見や質問をするディスカッション形式で行われます。各々の考え方が異なり、さらに、クラスメイトも独自のアクセントをもった英語を話すので、非常に聞き取りにくく、最初の段階では大変な思いをしました。「下手だと思われたらどうしよう」と恐れたり、「相手に理解してもらえないかもしれない」と不安になったりすることがありましたが、このクラスゆえに、失敗や恥を恐れない大切さを学び、以前に比べて自信を持って自分を表現することが出来るようになりました。



現在はホストファミリーの元で生活していますが、ホームステイでは現地の人がどのような暮らしをして、どのような事を考えて生活しているかを知ることが出来ます。私のファミリーはヒスパニック系の移民のため、毎日スペイン語の会話を耳にしますが、すべて英語で必要な事は自分で聞き、自分で行動します。日本では英語を使う事は非常に良い利点になりますが、カリフォルニアは移民が多く、母国語と英語を話すのは普通の事であるということに驚きました。

アメリカではスポーツ、音楽、食、読書、国際交流、ボランティアなどの多岐に渡るミーティングやイベントが頻繁に開催されています。私は趣味のギターを持ち込んで、現地の人達とバンド活動を行ったり、時には Language Exchange へ参加したりしていますが、これは英語を勉強するためだけの場ではなく、英語をコミュニケーションツールとして人と関わる最も良い機会です。

週末になると Extension の各国の友人と食事に行き、息抜きをすることもあります。他国の友人と接し、お互いの国について話すと、日本との文化の違いを知ることが出来ます。このような文化の多様性に関して、お互いの母国に興味を持ち、受け入れ、尊重することが国際交流の理解につながると思います。

